



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社

上場取引所 東 大

コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大枝 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 総務本部広報部長 (氏名) 稲垣 泉

TEL 03-5282-6650

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	110,750	2.0	5,156	△24.1	6,279	△19.7	3,871	△15.0
24年3月期第1四半期	108,570	2.6	6,791	△6.2	7,824	△4.4	4,552	3.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,191百万円 (△74.5%) 24年3月期第1四半期 4,666百万円 (35.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	15.58	—
24年3月期第1四半期	18.32	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	420,355	297,132	68.9
24年3月期	431,956	298,798	67.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 289,635百万円 24年3月期 291,390百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	224,600	4.7	10,600	1.7	11,900	0.1	7,100	6.3	28.57
通期	459,100	3.9	23,500	1.7	26,300	0.6	14,600	9.6	58.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	251,535,448 株	24年3月期	251,535,448 株
25年3月期1Q	3,063,355 株	24年3月期	3,062,310 株
25年3月期1Q	248,472,679 株	24年3月期1Q	248,491,842 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### [当第1四半期の概況]

当第1四半期につきましては、東日本大震災後の復興需要並びに政策効果等により景気は緩やかに回復しつつあるものの、デフレ環境の継続や欧州経済への懸念を背景に消費者の節約志向が継続する厳しい環境となりましたが、食品事業において消費者キャンペーンを展開する等積極的な販促活動による出荷拡大施策を実行するとともにグループを挙げたコスト削減に取り組みました。また、本年5月に福岡市の臨海地区において最新鋭の製粉工場の建設に着手するなど将来に向けたコスト競争力の強化に取り組んでおります。そのような中、本年4月に輸入小麦の政府売渡価格が5銘柄平均で15%引き下げられましたが、当社はそれを受け、本年7月10日に業務用小麦粉価格の改定を実施いたしました。

また、本年4月に長期的な成長を実現するため、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」をスタートいたしました。

この結果、第1四半期の業績は、売上高は1,107億50百万円（前年同期比102.0%）となりました。利益面では、食品事業において積極的に拡販費用を投入したこと、また、前年同期は東日本大震災後の需要の高まりなどから出荷が高水準であったこともあり、営業利益は51億56百万円（前年同期比75.9%）、経常利益は62億79百万円（前年同期比80.3%）、四半期純利益は38億71百万円（前年同期比85.0%）と前年を下回りましたが、当初見通しに沿った進捗となりました。

#### [セグメント別営業概況]

##### ①製粉事業

製粉事業につきましては、お客様との関係強化に注力するなど積極的な販売促進活動に努めましたが、小麦粉価格改定に伴う需要の変動、及び前年の東日本大震災による需要増の影響もあり、業務用小麦粉の出荷は前年を下回りました。

生産・物流面では、引き続き生産性向上及び固定費削減等のコスト削減の取組みを推進しました。また、国内製粉会社では初めて当社と国内全製粉工場一体で「(※)FSSC22000」の認証を取得するなど、食品安全への取組みを積極的に推進しました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は堅調に推移しました。

海外事業におきましては、お客様との関係強化や積極的な拡販施策に努めました。また、本年3月に買収したMiller Milling Company, LLCにつきましても設備の増能力に着手するなど事業規模の拡大に向け取り組んでおります。

この結果、製粉事業の売上高は434億28百万円（前年同期比103.2%）、営業利益は21億5百万円（前年同期比89.2%）となりました。

#### ※FSSC22000 (Food Safety System Certification 22000)

国際的な食品安全マネジメントシステムであり、世界的な流通及びサプライヤーの組織であるGFSI（国際食品安全イニシアティブ）が承認している規格。

##### ②食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の皆様の多様化するニーズにお応えした新製品の市場投入や、消費者キャンペーン「～小麦の力で、日本を元気に！～『I LOVE ニッポン』キャンペーン」を実施する等販売促進活動を推進しましたが、個人消費の低迷や消費者の節約志向の継続など市場環境は厳しく、また、前年度は東日本大震災後の需要の高まりなどから出荷が高水準だったこともあり、売上げは前年を下回りました。中食・惣菜事業につきましては、売上げ拡大に向けた取組みを推進した結果、売上げは前年を上回りました。海外事業につきましては、成長を続ける中国・東南アジア市場を中心に新規顧客の獲得に向けた積極的な商品提案に努めたことにより、売上げは前年を上回りました。

酵母・バイオ事業の酵母事業は、フラワーペースト、パン品質改良剤等の低調を、総菜等の伸長でカバーし、売上げは前年を上回りました。バイオ事業は、培地、補酵素等が好調で売上げは前年を上回りました。

健康食品事業につきましては、通信販売ルートにおいて消費者向け新製品を発売する等、積極的な販売促進活動を推進しましたが、市場環境は引き続き厳しく、売上げは前年を下回りました。

この結果、食品事業の売上高は582億4百万円（前年同期比100.2%）、営業利益は24億60百万円（前年同期比63.3%）となりました。

### ③その他事業

ペットフード事業につきましては、市場環境が厳しい中、「ジェーピースタイル」等プレミアムペットフードの順調な販売や積極的な拡販費用の投入により、売上げは前年を上回りました。

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングが好調で、売上げは前年を上回りました。

メッシュクロス事業につきましては、自動車部品業界の復調を受けた化成品の伸長により、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は91億17百万円（前年同期比108.7%）となりましたが、営業利益は5億54百万円（前年同期比90.2%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

流動資産は2,070億31百万円で、有価証券が増加しましたが、現金及び預金とたな卸資産の減少などにより、前年度末に比べ63億99百万円減少しました。固定資産は2,133億23百万円で、主に投資その他の資産が減少したことにより、前年度末に比べ52億1百万円減少しました。この結果、総資産は4,203億55百万円で前年度末に比べ116億1百万円減少しました。また、流動負債は844億34百万円で、支払手形及び買掛金の減少などにより、前年度末に比べ78億53百万円減少しました。固定負債は387億88百万円で主に繰延税金負債の減少により、前年度末に比べ20億81百万円減少しました。この結果、負債は合計1,232億23百万円で前年度末に比べ99億34百万円減少しました。純資産は四半期純利益による増加と配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の減少などにより、前年度末に比べ16億66百万円減少し、2,971億32百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

我が国経済は、引き続き、欧州債務危機に伴う影響が懸念され、また、デフレ環境及び厳しい雇用情勢を背景に消費者の低価格・節約志向の継続が見込まれるなど、当社グループを取巻く状況は厳しいことが予想されます。このような状況におきましても、当社は製粉を始め、各事業において安全な製品を安定的に供給するとともに、中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」で策定した諸施策に積極的に取り組んでまいります。

以上の結果、当年度の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高4,591億円（前期比103.9%）、営業利益は235億円（前期比101.7%）、経常利益は263億円（前期比100.6%）、当期純利益は146億円（前期比109.6%）としております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,020	38,025
受取手形及び売掛金	65,015	63,806
有価証券	16,141	36,353
たな卸資産	62,283	53,455
その他	11,164	15,577
貸倒引当金	△194	△187
流動資産合計	213,431	207,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,329	45,619
機械装置及び運搬具（純額）	28,816	29,527
土地	35,704	35,501
その他（純額）	5,519	5,478
有形固定資産合計	115,370	116,126
無形固定資産		
のれん	9,044	9,020
その他	3,754	3,776
無形固定資産合計	12,798	12,797
投資その他の資産		
投資有価証券	80,378	74,410
その他	10,138	10,151
貸倒引当金	△161	△161
投資その他の資産合計	90,355	84,400
固定資産合計	218,525	213,323
資産合計	431,956	420,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,003	41,576
短期借入金	5,813	5,020
未払法人税等	5,442	2,576
引当金	243	69
未払費用	15,692	12,399
その他	15,092	22,792
流動負債合計	92,287	84,434
固定負債		
長期借入金	2,117	2,067
引当金		
退職給付引当金	18,420	18,452
その他の引当金	1,823	1,631
引当金計	20,244	20,083
繰延税金負債	11,814	9,937
その他	6,693	6,700
固定負債合計	40,869	38,788
負債合計	133,157	123,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	9,453	9,454
利益剰余金	247,736	249,122
自己株式	△3,186	△3,187
株主資本合計	271,120	272,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,776	19,002
繰延ヘッジ損益	170	△23
為替換算調整勘定	△2,677	△1,849
その他の包括利益累計額合計	20,269	17,128
新株予約権	188	201
少数株主持分	7,220	7,295
純資産合計	298,798	297,132
負債純資産合計	431,956	420,355

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	108,570	110,750
売上原価	73,908	76,706
売上総利益	34,661	34,043
販売費及び一般管理費	27,869	28,887
営業利益	6,791	5,156
営業外収益		
受取利息	52	42
受取配当金	697	765
持分法による投資利益	145	214
その他	232	213
営業外収益合計	1,127	1,235
営業外費用		
支払利息	20	16
為替差損	43	67
その他	30	28
営業外費用合計	94	112
経常利益	7,824	6,279
特別利益		
固定資産売却益	70	95
投資有価証券売却益	—	39
その他	—	11
特別利益合計	70	146
特別損失		
固定資産除却損	43	122
投資有価証券評価損	43	—
その他	2	6
特別損失合計	89	128
税金等調整前四半期純利益	7,804	6,296
法人税等	3,022	2,285
少数株主損益調整前四半期純利益	4,782	4,011
少数株主利益	230	139
四半期純利益	4,552	3,871

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,782	4,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	△3,763
繰延ヘッジ損益	△76	△152
為替換算調整勘定	426	1,080
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	16
その他の包括利益合計	△116	△2,819
四半期包括利益	4,666	1,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,362	730
少数株主に係る四半期包括利益	303	461

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間における剰余金の配当は、以下のとおりであります。なお、この他に該当事項はありません。

(配当金支払額)

平成24年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	2,485百万円
② 1株当たり配当額	10円
③ 基準日	平成24年3月31日
④ 効力発生日	平成24年6月28日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,080	58,101	100,181	8,388	108,570	—	108,570
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,264	114	5,378	622	6,000	△6,000	—
計	47,344	58,216	105,560	9,010	114,571	△6,000	108,570
セグメント利益	2,361	3,886	6,248	614	6,863	△71	6,791

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,428	58,204	101,632	9,117	110,750	—	110,750
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,708	112	4,820	887	5,708	△5,708	—
計	48,136	58,316	106,453	10,004	116,458	△5,708	110,750
セグメント利益	2,105	2,460	4,566	554	5,121	35	5,156

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。